

2016年11月10日

## 経済レポート

## 2016年9月の機械受注統計の結果

～ 民需(船舶・電力を除く)は前月比 - 3.3%と2か月連続の減少～

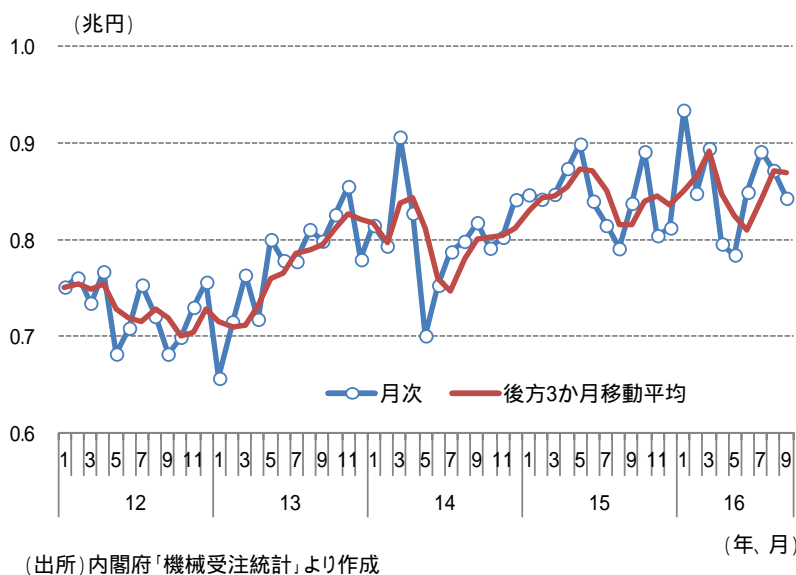
調査部 主任研究員 中田一良

### 9月の民需(船舶・電力を除く)の動向

機械受注統計の中で、設備投資の先行指標として注目される民需(船舶・電力を除く)は、9月は前月比 - 3.3%と2か月連続で減少し、このところ横ばい圏で推移している(図表1)。

製造業は前月比 - 5.0%、非製造業(船舶・電力を除く)は同 - 0.9%といずれも2か月連続で減少した。

図表1 民需(船舶・電力を除く)の推移

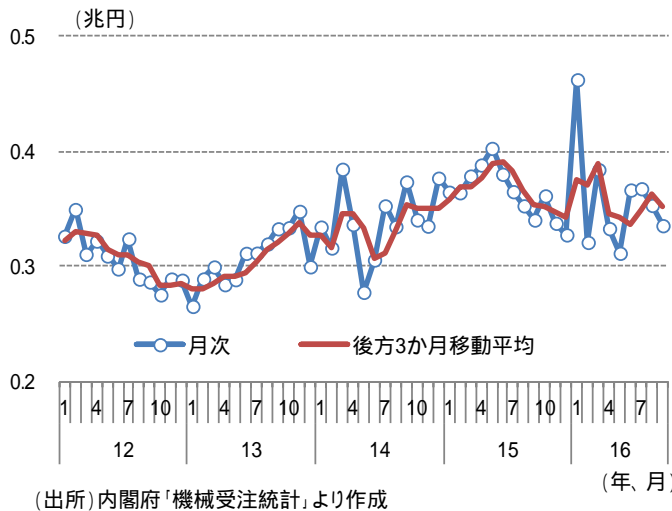


### 業種別の動向

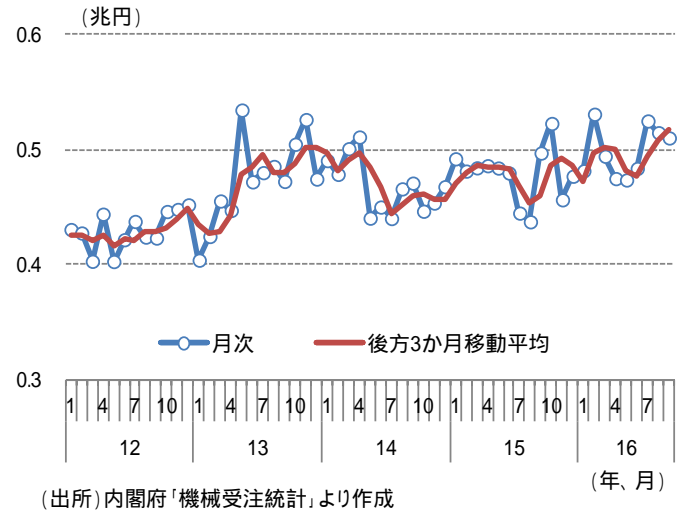
製造業は、持ち直しの動きがみられるようになってきていたが、足もとでは弱い動きとなっている(図表2)。9月の動向を業種別にみると、非鉄金属が前月比 + 335.5%、自動車・同付属品が同 + 16.1%、鉄鋼業が同 + 18.9%と増加した。一方、「その他製造業」が前月比 - 19.1%、食品製造業が同 - 38.6%、「その他輸送用機械」が同 - 20.4%となるなど、17業種中11業種で減少した。

非製造業(船舶・電力を除く)は、9月は減少したものの、緩やかに持ち直している(図表3)。9月の動向を業種別にみると、増加傾向にある運輸業・郵便業が前月比 + 6.3%、卸売業・小売業が同 + 43.8%、建設業が同 + 10.9%と増加したものの、「その他非製造業」が同 - 25.4%、情報サービス業が同 - 9.8%、通信業が同 - 7.5%と減少した。

図表2 製造業の推移



図表3 非製造業(船舶・電力を除く)の推移



## 外需他の動向

外需は、9月は前月比+1.4%と2か月連続で増加したものの、7~9月期では前期比-6.0%と低迷が続いている。9月の機種別の前年同月比をみると、船舶で大幅な減少が続いている。他方、電子・通信機械は増加が続いているものの、増加幅は縮小した。

最終需要者が不明である代理店経由の受注は、中小企業の設備投資の動向を表している可能性があるとして、9月は前月比+5.6%と2か月ぶりに増加した。

## 10~12月期の見通し

調査対象企業の見通しをもとに内閣府がまとめた10~12月期の受注見通しによると、民需(船舶・電力を除く)は、前期比-5.9%と2四半期ぶりに減少する見込みである。業種別では、製造業は前期比-3.8%、非製造業(船舶・電力を除く)は同-6.2%といずれも減少する見通しとなっている。

過去1年間は、見通しと実績における増減の方向性は一致しており、10~12月期の見通しを前提とすると、機械類を中心とする設備投資は今後、増加を期待しづらい状況となると考えられる。

## ご利用に際して

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。